



3歳児 5月のみかん組

細く切った牛乳パックに洗濯ばさみをつけると、いろいろな形に大変身。どんどん想像力が膨らみます。

こんにちは
うさぎさんだよ



ガタンゴトン
電車ですよ



裸足になって、上から砂をかけて…
「足が隠れちゃった」「冷たくて気持ちいいね」
砂の感触を楽しんでいます。



はしごや一本橋を渡って、マットに大ジャンプ。
少しドキドキするけれど…渡り切ったときには満面の
笑みです。

「やわらかいね」「パンのにおいがする」
ふわふわした感触の小麦粉粘土。
ちぎったり、丸めたり、伸ばしたり…感触
を楽しみながら遊んでいます。



☆おべんとうが始まりました☆
みんなで食べるおべんとうの
時間が待ち遠しくて仕方ない
みかん組です。

幼稚園にあるグミの木の実が真っ赤になっ
てきました。
赤い実を選んで味見をしたり、集めたりし
て、身近な自然物に親しんでいます。



4歳児 5月のもも組

絵の具で遊ぼう



大きな模造紙を広げると、「何が始まるのか」と興味津々で集まってくる4歳児。模造紙が動かぬようにテープで固定した後は、その上に寝そべる姿が。よく見てみると、頬や手で模造紙の表面を気持ちよさそうに何度も擦っていました。

この日は、黄、黄緑、緑の絵の具を着けた手や指で画面いっぱい塗り広げて遊びました。緑の下地に着いた黄色を見て「たんぽぽみたい。」と4歳児なりに想起する姿が見られました。



こいのぼりと矢車

画用紙に絵の具を着けて半分に折る「合わせ絵」で真鯉と緋鯉をつくりました。

その前に、一人一人の竿に矢車を付けると、矢車が回る様に面白さや風の心地よさを感じたのか、遅しく前へ進み竜門を登る鯉のように、何度も何度も風に向かって走る姿が見られました。



収穫 「グミの実」

本園には「グミ」の木があります。赤く色づいた実を見つけた4歳児は、教師に知らせにくる姿が見られます。前年度、実を食べた経験から、実が色づく食べ頃だと理解しているようです。

このようなささやかな場面ひとつから、前年度の生活経験が現在の姿へとつながっていることが読み取れます





5歳児 5月のすみれ組



戸外で体を動かして遊ぶ ～バナナ鬼～

戸外ではバナナ鬼ごっこをして広い園庭を駆け回っています。「鬼役である魔法使いは何人がいいかな?」「逃げていた友達をみんな捕まえるためにはどうしたらいいだろう」思いを出し合ったり考えたりしながら友達と一緒に遊びを楽しんでいます。

目当てをもち、繰り返し遊びを楽しむ

高さのある巧技台からジャンプができるようになったので、今度はジャングルジムからのジャンプに挑戦しました。始めは少し低い所から跳んでいた子も、応援してくれる友達に支えられて少しずつ高い所からも跳び下りることができるようになりました。



こんな模様になったよ

染め物遊び ～親子参観～

4月から草花をすり鉢で潰したり、ビニール袋に入れて揉んだりして色をつくることを楽しんでいた子どもたち。そこで、保育参観では、親子で相談し家庭で色水を作ってきてもらい、その色水を使って染め物遊びをすることにしました。



前日は・・・
良く染まる
よう豆乳に
布をつけて
干しました



ナスを使って
色をつくってみました



色水の紹介

どんな色に
なるかな



親子でどんな模様になるか
考えながらビー玉や洗濯バ
サミを布につけていきます

